

平成20年5月16日

フィジーまぐろ船主協会がOPRTに加入

OPRT（社）責任あるまぐろ漁業推進機構（会長 中須勇雄）は、5月9日開催した理事会で、フィジーまぐろ船主協会の加入申請を承認した。OPRTにとって、8番目の外国正会員となる。また、OPRT登録のはえなわ漁船の総隻数は、1,174となる。

フィジーまぐろ船主協会（FTBOA）は、フィジー船籍のマグロ延縄漁船19隻（長さ24メートル以上の大型船12隻、24メートル未満の小型船7隻）が所属するフィジーのマグロ漁業を代表する組織であり、所在地はスバ。所属船は、フィジー200海里内及び隣接海域で操業。ピンナガ、キハダなどを漁獲し、缶詰原料として米領サモアへ輸出している。

FTBOAは、他のOPRT会員と同様、OPRT登録隻数を、19隻に制限すること等のOPRT入会条件に合意している。

「南太平洋有力国の業界団体がOPRTに加入し、共に責任あるまぐろ漁業を推進することとなった意義は大きい。当面の懸案である若齢マグロの過剰漁獲の抑制を求める仲間が増えることも心強い。また、今後、フィジーを梃子に、小型はえ縄漁船の増加が伝えられている南太平洋島嶼国のまぐろ漁業関係者との連携が進むことを希望している。」と、OPRT原田雄一郎専務は述べた。

ご質問等は下記にご連絡下さい

（問合せ先）

（社）責任あるまぐろ漁業推進機構
事務局長：田端 事業部長：人見
TEL：03-3568-6388
FAX：03-3568-6389